

# 結果の概要

## I 世帯数と世帯人員の状況

### 1 世帯構造及び世帯類型の状況

2021(令和3)年6月3日現在における全国の世帯総数は5191万4千世帯となっている。世帯構造をみると、「単独世帯」が1529万2千世帯(全世帯の29.5%)で最も多く、次いで「夫婦と未婚の子のみの世帯」が1427万2千世帯(同27.5%)、「夫婦のみの世帯」が1271万4千世帯(同24.5%)となっている。

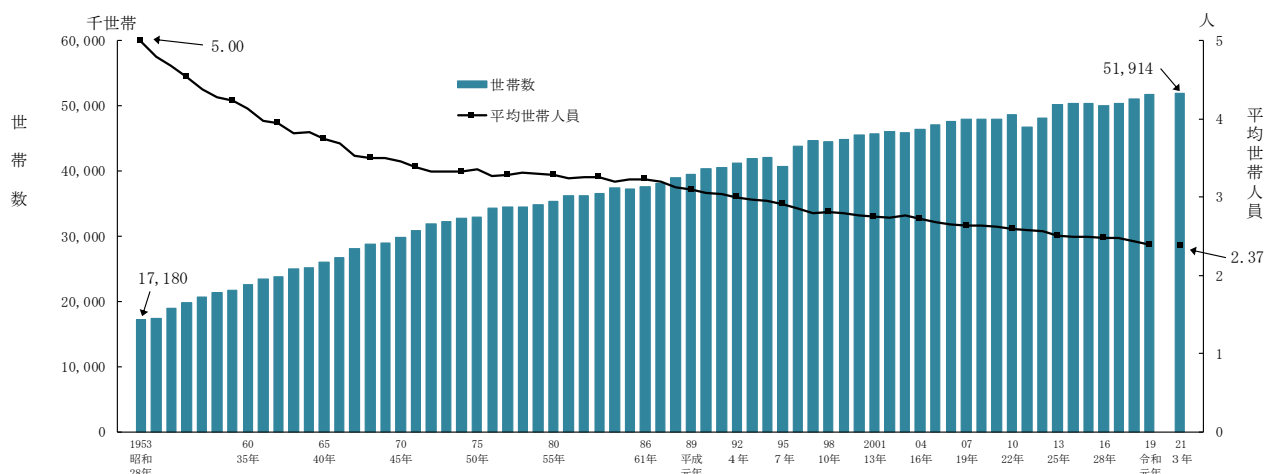
世帯類型をみると、「高齢者世帯」は1506万2千世帯(全世帯の29.0%)となっている。(表1、図1)

表1 世帯構造別、世帯類型別世帯数及び平均世帯人員の年次推移

	総数	世帯構造					世帯類型				平均世帯人員	
		単独世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と未婚の子のみの世帯	ひとり親と未婚の子のみの世帯	三世帯	その他の世帯	高齢者世帯	母子世帯	父子世帯		その他の世帯
推計数 (単位：千世帯)												
1986(昭和61)年	37 544	6 826	5 401	15 525	1 908	5 757	2 127	2 362	600	115	34 468	3.22
'89(平成元)	39 417	7 866	6 322	15 478	1 985	5 599	2 166	3 057	554	100	35 707	3.10
'92(4)	41 210	8 974	7 071	15 247	1 998	5 390	2 529	3 688	480	86	36 957	2.99
'95(7)	40 770	9 213	7 488	14 398	2 112	5 082	2 478	4 390	483	84	35 812	2.91
'98(10)	44 496	10 627	8 781	14 951	2 364	5 125	2 648	5 614	502	78	38 302	2.81
2001(13)	45 664	11 017	9 403	14 872	2 618	4 844	2 909	6 654	587	80	38 343	2.75
'04(16)	46 323	10 817	10 161	15 125	2 774	4 512	2 934	7 874	627	90	37 732	2.72
'07(19)	48 023	11 983	10 636	15 015	3 006	4 045	3 337	9 009	717	100	38 197	2.63
'10(22)	48 638	12 386	10 994	14 922	3 180	3 835	3 320	10 207	708	77	37 646	2.59
'13(25)	50 112	13 285	11 644	14 899	3 621	3 329	3 334	11 614	821	91	37 586	2.51
'16(28)	49 945	13 434	11 850	14 744	3 640	2 947	3 330	13 271	712	91	35 871	2.47
'17(29)	50 425	13 613	12 096	14 891	3 645	2 910	3 270	13 223	767	97	36 338	2.47
'18(30)	50 991	14 125	12 270	14 851	3 683	2 720	3 342	14 063	662	82	36 184	2.44
'19(令和元)	51 785	14 907	12 639	14 718	3 616	2 627	3 278	14 878	644	76	36 187	2.39
'20(2)	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
'21(3)	51 914	15 292	12 714	14 272	3 693	2 563	3 379	15 062	623	63	36 165	2.37
構成割合 (単位：%)												
1986(昭和61)年	100.0	18.2	14.4	41.4	5.1	15.3	5.7	6.3	1.6	0.3	91.8	・
'89(平成元)	100.0	20.0	16.0	39.3	5.0	14.2	5.5	7.8	1.4	0.3	90.6	・
'92(4)	100.0	21.8	17.2	37.0	4.8	13.1	6.1	8.9	1.2	0.2	89.7	・
'95(7)	100.0	22.6	18.4	35.3	5.2	12.5	6.1	10.8	1.2	0.2	87.8	・
'98(10)	100.0	23.9	19.7	33.6	5.3	11.5	6.0	12.6	1.1	0.2	86.1	・
2001(13)	100.0	24.1	20.6	32.6	5.7	10.6	6.4	14.6	1.3	0.2	84.0	・
'04(16)	100.0	23.4	21.9	32.7	6.0	9.7	6.3	17.0	1.4	0.2	81.5	・
'07(19)	100.0	25.0	22.1	31.3	6.3	8.4	6.9	18.8	1.5	0.2	79.5	・
'10(22)	100.0	25.5	22.6	30.7	6.5	7.9	6.8	21.0	1.5	0.2	77.4	・
'13(25)	100.0	26.5	23.2	29.7	7.2	6.6	6.7	23.2	1.6	0.2	75.0	・
'16(28)	100.0	26.9	23.7	29.5	7.3	5.9	6.7	26.6	1.4	0.2	71.8	・
'17(29)	100.0	27.0	24.0	29.5	7.2	5.8	6.5	26.2	1.5	0.2	72.1	・
'18(30)	100.0	27.7	24.1	29.1	7.2	5.3	6.6	27.6	1.3	0.2	71.0	・
'19(令和元)	100.0	28.8	24.4	28.4	7.0	5.1	6.3	28.7	1.2	0.1	69.9	・
'20(2)	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
'21(3)	100.0	29.5	24.5	27.5	7.1	4.9	6.5	29.0	1.2	0.1	69.7	・

注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。  
 2) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。  
 3) 2020(令和2)年は、調査を実施していない。

図1 世帯数と平均世帯人員の年次推移



注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。  
 2) 2011(平成23)年の数値は、岩手県、宮城県及び福島県を除いたものである。  
 3) 2012(平成24)年の数値は、福島県を除いたものである。  
 4) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。  
 5) 2020(令和2)年は、調査を実施していない。

## 2 65歳以上の者のいる世帯の状況

65歳以上の者のいる世帯は2580万9千世帯（全世帯の49.7%）となっている。

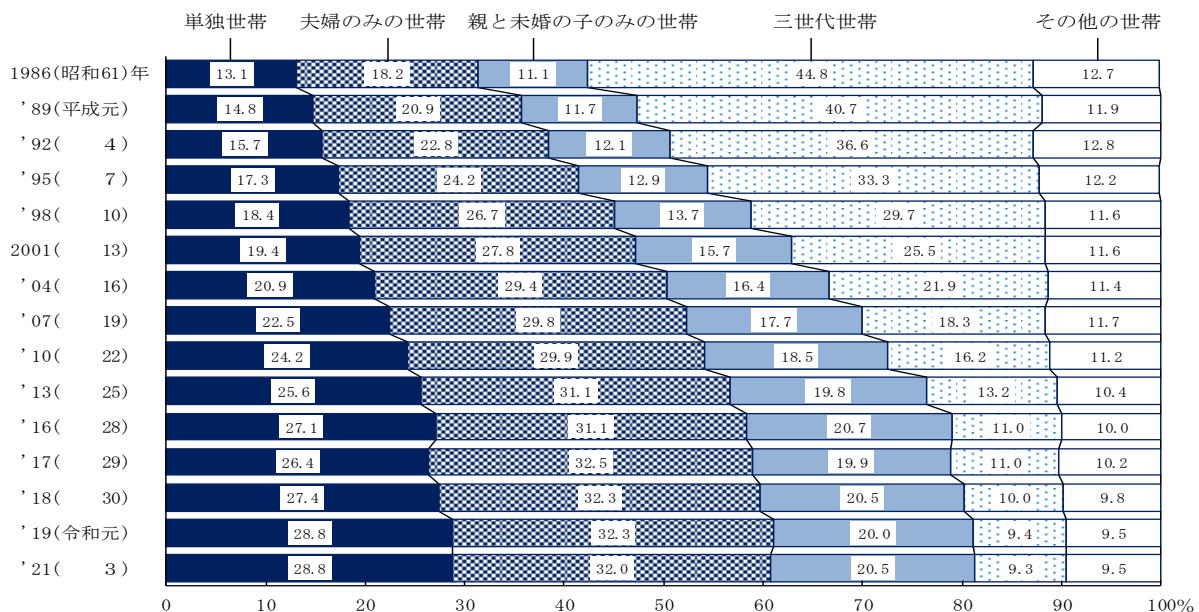
世帯構造をみると、「夫婦のみの世帯」が825万1千世帯（65歳以上の者のいる世帯の32.0%）で最も多く、次いで「単独世帯」が742万7千世帯（同28.8%）、「親と未婚の子のみの世帯」が528万4千世帯（同20.5%）となっている。（表2、図2）

表2 65歳以上の者のいる世帯の世帯構造の年次推移

	65歳以上の者のいる世帯	全世帯に占める割合(%)	推 計 数 (単位：千世帯)					その 他 の 世 帯	(再掲) 65歳以上の者のみの世帯
			単 独 世 帯	夫 婦 の み の 世 帯	親 と 未 婚 の 子 の み の 世 帯	三 世 代 世 帯	推 計 数		
1986(昭和61)年	9 769	(26.0)	1 281	1 782	1 086	4 375	1 245	2 339	
'89(平成元)	10 774	(27.3)	1 592	2 257	1 260	4 385	1 280	3 035	
'92( 4)	11 884	(28.8)	1 865	2 706	1 439	4 348	1 527	3 666	
'95( 7)	12 695	(31.1)	2 199	3 075	1 636	4 232	1 553	4 370	
'98(10)	14 822	(33.3)	2 724	3 956	2 025	4 401	1 715	5 597	
2001(13)	16 367	(35.8)	3 179	4 545	2 563	4 179	1 902	6 636	
'04(16)	17 864	(38.6)	3 730	5 252	2 931	3 919	2 031	7 855	
'07(19)	19 263	(40.1)	4 326	5 732	3 418	3 528	2 260	8 986	
'10(22)	20 705	(42.6)	5 018	6 190	3 836	3 348	2 313	10 188	
'13(25)	22 420	(44.7)	5 730	6 974	4 442	2 953	2 321	11 594	
'16(28)	24 165	(48.4)	6 559	7 526	5 007	2 668	2 405	13 252	
'17(29)	23 787	(47.2)	6 274	7 731	4 734	2 621	2 427	13 197	
'18(30)	24 927	(48.9)	6 830	8 045	5 122	2 493	2 437	14 041	
'19(令和元)	25 584	(49.4)	7 369	8 270	5 118	2 404	2 423	14 856	
'20( 2)	...	...	...	...	...	...	...	...	
'21( 3)	25 809	(49.7)	7 427	8 251	5 284	2 401	2 446	15 044	
			構 成 割 合 (単位：%)						
1986(昭和61)年	100.0	・	13.1	18.2	11.1	44.8	12.7	23.9	
'89(平成元)	100.0	・	14.8	20.9	11.7	40.7	11.9	28.2	
'92( 4)	100.0	・	15.7	22.8	12.1	36.6	12.8	30.8	
'95( 7)	100.0	・	17.3	24.2	12.9	33.3	12.2	34.4	
'98(10)	100.0	・	18.4	26.7	13.7	29.7	11.6	37.8	
2001(13)	100.0	・	19.4	27.8	15.7	25.5	11.6	40.5	
'04(16)	100.0	・	20.9	29.4	16.4	21.9	11.4	44.0	
'07(19)	100.0	・	22.5	29.8	17.7	18.3	11.7	46.6	
'10(22)	100.0	・	24.2	29.9	18.5	16.2	11.2	49.2	
'13(25)	100.0	・	25.6	31.1	19.8	13.2	10.4	51.7	
'16(28)	100.0	・	27.1	31.1	20.7	11.0	10.0	54.8	
'17(29)	100.0	・	26.4	32.5	19.9	11.0	10.2	55.5	
'18(30)	100.0	・	27.4	32.3	20.5	10.0	9.8	56.3	
'19(令和元)	100.0	・	28.8	32.3	20.0	9.4	9.5	58.1	
'20( 2)	...	...	...	...	...	...	...	...	
'21( 3)	100.0	・	28.8	32.0	20.5	9.3	9.5	58.3	

- 注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。  
 2) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。  
 3) 2020(令和2)年は、調査を実施していない。  
 4) 「親と未婚の子のみの世帯」とは、「夫婦と未婚の子のみの世帯」及び「ひとり親と未婚の子のみの世帯」をいう。

図2 65歳以上の者のいる世帯の世帯構造の年次推移



- 注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。  
 2) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。  
 3) 2020(令和2)年は、調査を実施していない。  
 4) 「親と未婚の子のみの世帯」とは、「夫婦と未婚の子のみの世帯」及び「ひとり親と未婚の子のみの世帯」をいう。

65歳以上の者のいる世帯のうち、高齢者世帯の世帯構造をみると、「単独世帯」が742万7千世帯（高齢者世帯の49.3%）、「夫婦のみの世帯」が700万5千世帯（同46.5%）となっている（表3、図3）。

「単独世帯」をみると、男は35.7%、女は64.3%となっている。

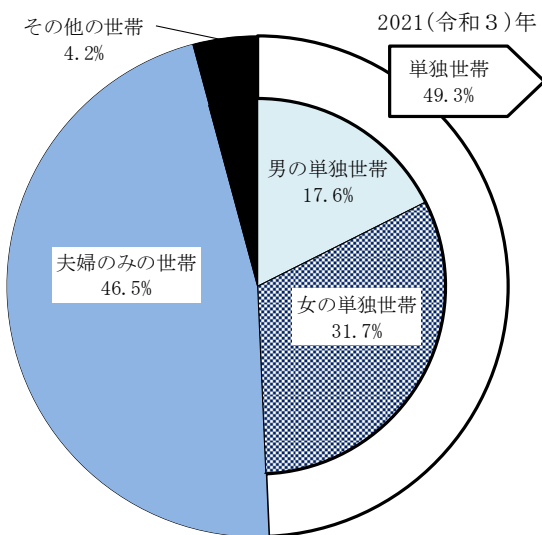
性別に年齢構成をみると、男は「70～74歳」が29.8%、女は「85歳以上」が24.3%で最も多くなっている。（図4）

表3 高齢者世帯の世帯構造の年次推移

	高齢者世帯	単独世帯	単独世帯		夫婦のみの世帯	その他の世帯
			男の単独世帯	女の単独世帯		
	推 計 数 (単位：千世帯)					
1986 (昭和61)年	2 362	1 281	246	1 035	1 001	80
'89 (平成元)	3 057	1 592	307	1 285	1 377	88
'92 ( 4)	3 688	1 865	348	1 517	1 704	119
'95 ( 7)	4 390	2 199	449	1 751	2 050	141
'98 (10)	5 614	2 724	555	2 169	2 712	178
2001 (13)	6 654	3 179	728	2 451	3 257	218
'04 (16)	7 874	3 730	906	2 824	3 899	245
'07 (19)	9 009	4 326	1 174	3 153	4 390	292
'10 (22)	10 207	5 018	1 420	3 598	4 876	313
'13 (25)	11 614	5 730	1 659	4 071	5 513	371
'16 (28)	13 271	6 559	2 095	4 464	6 196	516
'17 (29)	13 223	6 274	2 046	4 228	6 435	514
'18 (30)	14 063	6 830	2 226	4 604	6 648	585
'19 (令和元)	14 878	7 369	2 577	4 793	6 938	571
'20 ( 2)	...	...	...	...	...	...
'21 ( 3)	15 062	7 427	2 651	4 776	7 005	631
	構 成 割 合 (単位：%)					
1986 (昭和61)年	100.0	54.2	10.4	43.8	42.4	3.4
'89 (平成元)	100.0	52.1	10.0	42.0	45.0	2.9
'92 ( 4)	100.0	50.6	9.4	41.1	46.2	3.2
'95 ( 7)	100.0	50.1	10.2	39.9	46.7	3.2
'98 (10)	100.0	48.5	9.9	38.6	48.3	3.2
2001 (13)	100.0	47.8	10.9	36.8	49.0	3.3
'04 (16)	100.0	47.4	11.5	35.9	49.5	3.1
'07 (19)	100.0	48.0	13.0	35.0	48.7	3.2
'10 (22)	100.0	49.2	13.9	35.3	47.8	3.1
'13 (25)	100.0	49.3	14.3	35.1	47.5	3.2
'16 (28)	100.0	49.4	15.8	33.6	46.7	3.9
'17 (29)	100.0	47.4	15.5	32.0	48.7	3.9
'18 (30)	100.0	48.6	15.8	32.7	47.3	4.2
'19 (令和元)	100.0	49.5	17.3	32.2	46.6	3.8
'20 ( 2)	...	...	...	...	...	...
'21 ( 3)	100.0	49.3	17.6	31.7	46.5	4.2

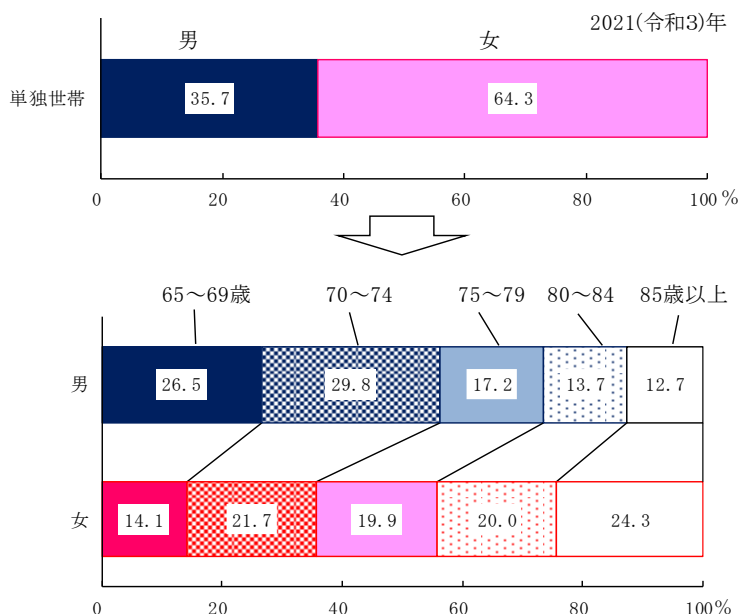
注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。  
 2) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。  
 3) 2020(令和2)年は、調査を実施していない。  
 4) 「その他の世帯」には、「親と未婚の子のみの世帯」及び「三世帯世帯」を含む。

図3 高齢者世帯の世帯構造



注：「その他の世帯」には、「親と未婚の子のみの世帯」及び「三世帯世帯」を含む。

図4 65歳以上の単独世帯の性・年齢構成



### 3 65歳以上の者の状況

65歳以上の者は3819万8千人となっている。

家族形態をみると、「夫婦のみの世帯」（夫婦の両方又は一方が65歳以上）の者が1525万6千人（65歳以上の者の39.9%）で最も多く、次いで「子と同居」の者が1384万2千人（同36.2%）、「単独世帯」の者が742万7千人（同19.4%）となっている。（表4）

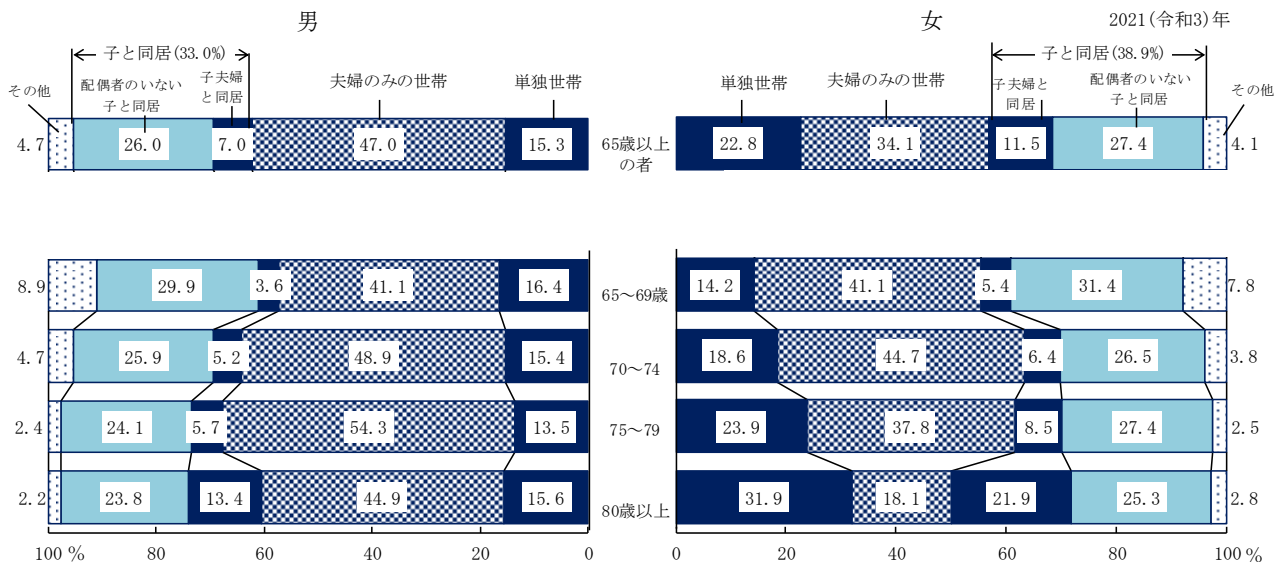
表4 65歳以上の者の家族形態の年次推移

	65歳以上の者	単独世帯	夫婦のみの世帯	子と同居			その他の親族と同居	非親族と同居
				子と同居	夫婦と同居	配偶者のいない子と同居		
推 計 数 (単位: 千人)								
1986 (昭和61)年	12 626	1 281	2 784	8 116	5 897	2 219	409	37
'89 (平成元)	14 239	1 592	3 634	8 539	6 016	2 524	445	29
'92 ( 4)	15 986	1 865	4 410	9 122	6 188	2 934	549	41
'95 ( 7)	17 449	2 199	5 125	9 483	6 192	3 291	611	31
'98 (10)	20 620	2 724	6 669	10 374	6 443	3 931	816	36
2001 (13)	23 073	3 179	7 802	11 173	6 332	4 841	878	41
'04 (16)	25 424	3 730	9 151	11 571	5 995	5 576	916	55
'07 (19)	27 584	4 326	10 122	12 034	5 406	6 629	1 056	45
'10 (22)	29 768	5 018	11 065	12 577	5 203	7 374	1 081	27
'13 (25)	32 394	5 730	12 487	12 950	4 498	8 452	1 193	33
'16 (28)	35 315	6 559	13 721	13 570	4 034	9 536	1 420	44
'17 (29)	35 195	6 274	14 166	13 243	3 988	9 255	1 454	58
'18 (30)	36 881	6 830	14 692	13 705	3 848	9 856	1 597	57
'19 (令和元)	37 631	7 369	15 208	13 527	3 756	9 771	1 492	35
'20 ( 2)	...	...	...	...	...	...	...	...
'21 ( 3)	38 198	7 427	15 256	13 842	3 619	10 223	1 605	68
構 成 割 合 (単位: %)								
1986 (昭和61)年	100.0	10.1	22.0	64.3	46.7	17.6	3.2	0.3
'89 (平成元)	100.0	11.2	25.5	60.0	42.2	17.7	3.1	0.2
'92 ( 4)	100.0	11.7	27.6	57.1	38.7	18.4	3.4	0.3
'95 ( 7)	100.0	12.6	29.4	54.3	35.5	18.9	3.5	0.2
'98 (10)	100.0	13.2	32.3	50.3	31.2	19.1	4.0	0.2
2001 (13)	100.0	13.8	33.8	48.4	27.4	21.0	3.8	0.2
'04 (16)	100.0	14.7	36.0	45.5	23.6	21.9	3.6	0.2
'07 (19)	100.0	15.7	36.7	43.6	19.6	24.0	3.8	0.2
'10 (22)	100.0	16.9	37.2	42.2	17.5	24.8	3.6	0.1
'13 (25)	100.0	17.7	38.5	40.0	13.9	26.1	3.7	0.1
'16 (28)	100.0	18.6	38.9	38.4	11.4	27.0	4.0	0.1
'17 (29)	100.0	17.8	40.3	37.6	11.3	26.3	4.1	0.2
'18 (30)	100.0	18.5	39.8	37.2	10.4	26.7	4.3	0.2
'19 (令和元)	100.0	19.6	40.4	35.9	10.0	26.0	4.0	0.1
'20 ( 2)	...	...	...	...	...	...	...	...
'21 ( 3)	100.0	19.4	39.9	36.2	9.5	26.8	4.2	0.2

注: 1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。  
 2) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。  
 3) 2020(令和2)年は、調査を実施していない。

性・年齢階級別にみると、年齢が高くなるにしたがって男は「子夫婦と同居」の割合が高くなっており、女は「単独世帯」と「子夫婦と同居」の割合が高くなっている（図5）。

図5 性・年齢階級別にみた65歳以上の者の家族形態



注: 「その他」とは、「その他の親族と同居」及び「非親族と同居」をいう。

#### 4 児童のいる世帯の状況

児童のいる世帯は 1073 万 7 千世帯で全世帯の 20.7% となっており、児童が「1人」いる世帯は 502 万 6 千世帯（全世帯の 9.7%、児童のいる世帯の 46.8%）、「2人」いる世帯は 426 万 7 千世帯（全世帯の 8.2%、児童のいる世帯の 39.7%）となっている。

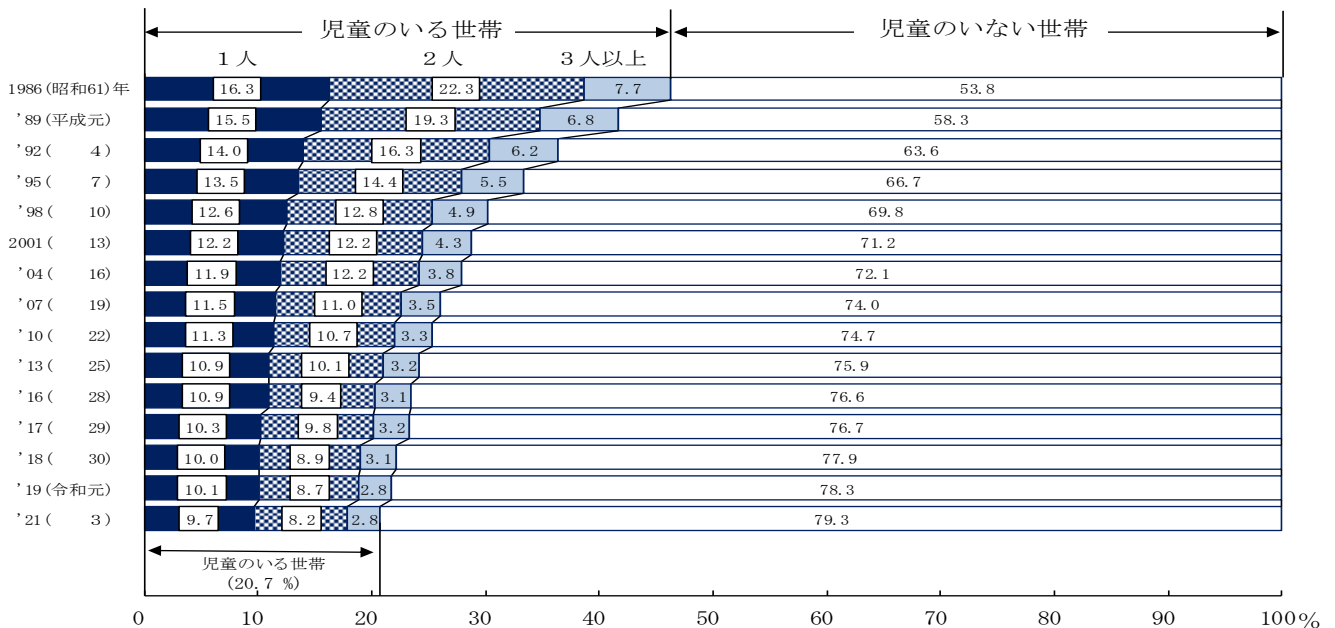
世帯構造をみると、「夫婦と未婚の子のみの世帯」が 817 万 8 千世帯（児童のいる世帯の 76.2%）で最も多く、次いで「三世帯世帯」が 138 万 4 千世帯（同 12.9%）となっている。（表 5、図 6）

表 5 児童数別、世帯構造別児童のいる世帯数及び平均児童数の年次推移

	児童のいる世帯	全世帯に占める割合 (%)	児童数			世帯構造					児童のいる世帯平均児童数 (人)
			1人	2人	3人以上	核家族世帯	夫婦と未婚の子のみの世帯	ひとり親と未婚の子のみの世帯	三世帯世帯	その他の世帯	
推計数 (単位：千世帯)											
1986 (昭和61)年	17 364	(46.2)	6 107	8 381	2 877	12 080	11 359	722	4 688	596	1.83
'89 (平成元)	16 426	(41.7)	6 119	7 612	2 695	11 419	10 742	677	4 415	592	1.81
'92 ( 4)	15 009	(36.4)	5 772	6 697	2 540	10 371	9 800	571	4 087	551	1.80
'95 ( 7)	13 586	(33.3)	5 495	5 854	2 237	9 419	8 840	580	3 658	509	1.78
'98 ( 10)	13 453	(30.2)	5 588	5 679	2 185	9 420	8 820	600	3 548	485	1.77
2001 ( 13)	13 156	(28.8)	5 581	5 594	1 981	9 368	8 701	667	3 255	534	1.75
'04 ( 16)	12 916	(27.9)	5 510	5 667	1 739	9 589	8 851	738	2 902	425	1.73
'07 ( 19)	12 499	(26.0)	5 544	5 284	1 671	9 489	8 645	844	2 498	511	1.71
'10 ( 22)	12 324	(25.3)	5 514	5 181	1 628	9 483	8 669	813	2 320	521	1.70
'13 ( 25)	12 085	(24.1)	5 457	5 048	1 580	9 618	8 707	912	1 965	503	1.70
'16 ( 28)	11 666	(23.4)	5 436	4 702	1 527	9 386	8 576	810	1 717	564	1.69
'17 ( 29)	11 734	(23.3)	5 202	4 937	1 594	9 698	8 814	885	1 665	371	1.71
'18 ( 30)	11 267	(22.1)	5 117	4 551	1 599	9 385	8 623	761	1 537	345	1.71
'19 (令和元)	11 221	(21.7)	5 250	4 523	1 448	9 252	8 528	724	1 488	480	1.68
'20 ( 2)	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
'21 ( 3)	10 737	(20.7)	5 026	4 267	1 444	8 867	8 178	689	1 384	486	1.69
構成割合 (単位：%)											
1986 (昭和61)年	100.0	•	35.2	48.3	16.6	69.6	65.4	4.2	27.0	3.4	•
'89 (平成元)	100.0	•	37.2	46.3	16.4	69.5	65.4	4.1	26.9	3.6	•
'92 ( 4)	100.0	•	38.5	44.6	16.9	69.1	65.3	3.8	27.2	3.7	•
'95 ( 7)	100.0	•	40.4	43.1	16.5	69.3	65.1	4.3	26.9	3.7	•
'98 ( 10)	100.0	•	41.5	42.2	16.2	70.0	65.6	4.5	26.4	3.6	•
2001 ( 13)	100.0	•	42.4	42.5	15.1	71.2	66.1	5.1	24.7	4.1	•
'04 ( 16)	100.0	•	42.7	43.9	13.5	74.2	68.5	5.7	22.5	3.3	•
'07 ( 19)	100.0	•	44.4	42.3	13.4	75.9	69.2	6.8	20.0	4.1	•
'10 ( 22)	100.0	•	44.7	42.0	13.2	76.9	70.3	6.6	18.8	4.2	•
'13 ( 25)	100.0	•	45.2	41.8	13.1	79.6	72.0	7.5	16.3	4.2	•
'16 ( 28)	100.0	•	46.6	40.3	13.1	80.5	73.5	6.9	14.7	4.8	•
'17 ( 29)	100.0	•	44.3	42.1	13.6	82.7	75.1	7.5	14.2	3.2	•
'18 ( 30)	100.0	•	45.4	40.4	14.2	83.3	76.5	6.8	13.6	3.1	•
'19 (令和元)	100.0	•	46.8	40.3	12.9	82.5	76.0	6.5	13.3	4.3	•
'20 ( 2)	...	•	...	...	...	...	...	...	...	...	•
'21 ( 3)	100.0	•	46.8	39.7	13.5	82.6	76.2	6.4	12.9	4.5	•

注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。  
 2) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。  
 3) 2020(令和2)年は、調査を実施していない。  
 4) 「その他の世帯」には、「単独世帯」を含む。

図 6 児童の有（児童数）無の年次推移



注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。  
 2) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。  
 3) 2020(令和2)年は、調査を実施していない。

児童のいる世帯における母の仕事の状況をみると、「仕事あり」の割合は75.9%であり、上昇傾向となっている（表6）。

表6 児童のいる世帯における母の仕事の状況の年次推移

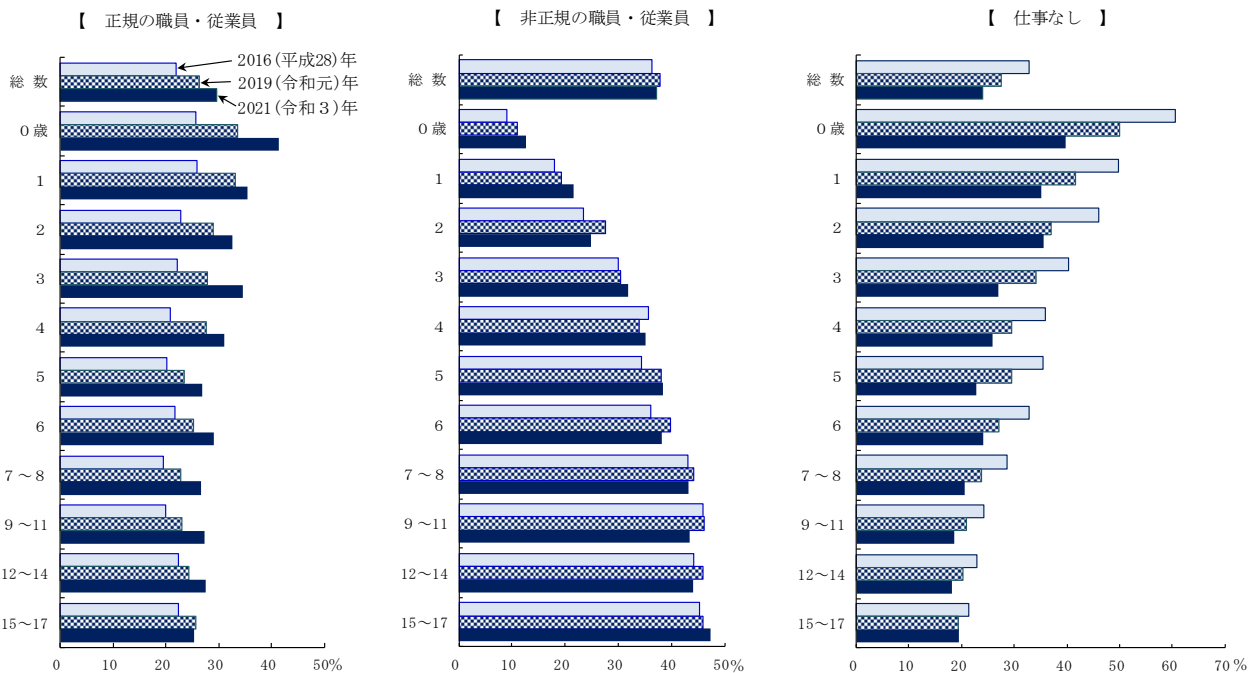
	総数	仕事あり	正 規 の	非正規の	その他	仕事なし
			職 員 ・ 従 業 員	職 員 ・ 従 業 員		
推計数（単位：千世帯）						
2004（平成16）年	12 542	7 109	2 115	3 286	1 707	5 433
'07（ 19）	12 058	7 158	1 968	3 553	1 637	4 900
'10（ 22）	11 945	7 190	2 019	3 731	1 439	4 756
'13（ 25）	11 711	7 384	2 269	4 056	1 059	4 326
'14（ 26）	11 027	7 243	2 299	3 849	1 095	3 784
'15（ 27）	11 539	7 853	2 590	4 292	972	3 686
'16（ 28）	11 221	7 536	2 464	4 068	1 004	3 685
'17（ 29）	11 432	8 098	2 829	4 230	1 039	3 334
'18（ 30）	11 034	7 965	2 896	4 076	992	3 069
'19（令和元）	10 872	7 869	2 843	4 105	921	3 003
'20（ 2）	...	...	...	...	...	...
'21（ 3）	10 369	7 868	3 070	3 872	926	2 501
構成割合（単位：％）						
2004（平成16）年	100.0	56.7	16.9	26.2	13.6	43.3
'07（ 19）	100.0	59.4	16.3	29.5	13.6	40.6
'10（ 22）	100.0	60.2	16.9	31.2	12.1	39.8
'13（ 25）	100.0	63.1	19.4	34.6	9.0	36.9
'14（ 26）	100.0	65.7	20.9	34.9	9.9	34.3
'15（ 27）	100.0	68.1	22.4	37.2	8.4	31.9
'16（ 28）	100.0	67.2	22.0	36.3	8.9	32.8
'17（ 29）	100.0	70.8	24.7	37.0	9.1	29.2
'18（ 30）	100.0	72.2	26.3	36.9	9.0	27.8
'19（令和元）	100.0	72.4	26.2	37.8	8.5	27.6
'20（ 2）	...	...	...	...	...	...
'21（ 3）	100.0	75.9	29.6	37.3	8.9	24.1

- 注：1) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。  
 2) 2020(令和2)年は、調査を実施していない。  
 3) 母の「仕事の有無不詳」を含まない。  
 4) 「その他」には、会社・団体等の役員、自営業主、家族従業者、内職、その他、勤めか自営か不詳及び勤め先での呼称不詳を含む。

母の仕事の状況について、末子の年齢階級別の年次推移をみると、「正規の職員・従業員」では概ね上昇傾向となっている。

一方、「仕事なし」の割合は、概ね低下傾向となっている。（図7）

図7 末子の年齢階級別にみた母の仕事の状況の年次推移



- 注：1) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。  
 2) 母の「仕事の有無不詳」を含まない総数に対する割合である。